

大鹿村中央構造線博物館たより 65号



月・火曜日休館

TEL&FAX: (0265) 39-2205 E-mail: mtl-muse@osk.jams.or.jp

ジオパーク全国大会にて、大鹿村ツアー開催！

9月27日(土)～29日(月)、日本ジオパーク南アルプス大会(第5回日本ジオパーク全国大会)が開催されました。

ジオパークとは大地の歴史を学び、楽しむことのできる場所であり、「ジオ geo」はギリシャ語で「地球」を意味するため、「地球の公園」です。また、その地に根ざした人の暮らしや生き物もジオパークの一部です。

南アルプスのジオパークは「南アルプスジオパーク中央構造線エリア」と呼ばれ、大鹿村・富士見町・飯田市・伊那市がその範囲として指定されています。

1～2日目はメイン会場である伊那市内で、開会式や講演会、パネルの展示などが行われました。博物館からも中央構造線や岩石についてのパネルを出展しました。

開会式では、アトラクションとして大鹿歌舞伎が披露されました。15分という短い時間でしたが、会場には十分に迫力が伝わっていたようです。

3日目は各市町村(大鹿村・富士見町・飯田市・伊那市)に分かれ、ツアーを実施しました。

博物館では、この日のために4月から準備を進めてきました。ツアーガイドを養成するため、5回に渡り勉強会を開催しました。ツアーで村内を巡るコースは何通りも考え、スケジュールを練り直してきました。

大鹿村ツアーには51名が参加して下さいました。そのため、参加者を2グループに分け、ガイドは2人1組の合計4人で実施しました。

博物館を始め、中央構造線の露頭、河合の断層鞍部、夕立神展望台、地すべり跡地にある上蔵集落などをマイクロバスで巡りました。



パネル展示で博物館の見所を紹介



開会セレモニーは大鹿歌舞伎



博物館・岩石園にて(大鹿村ツアー)

当日はお天気に恵まれ、特に夕立神展望台では南アルプス（赤石山脈）と中央アルプス（木曾山脈）、2つのパノラマを楽しんでいただくことができました。

ただ、時間が足りなくなったり、道が工事中であったりと、急なコースの変更を余儀無くされた場面もありました。しかし、参加された方々の協力もあり、無事に時間内に終了することができました。

参加者は全国のジオパーク関係者が多く、博物館では初の試みであったため、逆にアドバイスをいただくこともあり、ガイドする側としても非常に勉強になりました。

ジオパーク全国大会に関わるということは、準備を含め、貴重な経験となりました。大会終了後も気を抜かず、今後の博物館活動に生かしていきます。



夕立神展望台にて（大鹿村ツアー）

お知らせ

100年前の大鹿を知る 中川豊さんのお話を聞く会

かつて大鹿の人々は、どんな思想を持って、どういう生き方をしていたのでしょうか？
生まれも育ちも大鹿の語り部、中川豊さんに、集落行事や馬のいる生活など、ご自身の子ども時代の暮らしぶりを中心にお話を伺います。

中川さんの案内で100年前にタイムトリップ！ぜひご参加ください！

【日時】

- 第1回 11月2日（日）13：00～15：00
- 第2回 12月7日（日）13：00～15：00

【場所】

大鹿村中央構造線博物館 学習室

【参加費】

無料

【お問い合わせ】

谷口文子 ☎ 0265-39-2072

大鹿村教育委員会・大鹿村公民館 共催